

令和元年 事業所における自己評価表(公表)

公表：令和 2年 2月 20日

事業所名 高槻市立うの花療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13(36%)	13(36%)	10(28%)	個別のスペースが必要なお子さんが今年は多く、満足出来るほどの利用はできていないが、部屋の利用時間や子どもの動きを調整したり、廊下や室内に衝立を置くといった環境調整をしたことで、個別スペースができるよう、工夫してきたことからの結果であると思われる。
	②	職員の配置数は適切であるか	20(56%)	13(36%)	3(8%)	個別支援の必要な子どもが増え、大人が一人つく対応をすることが多い。子どもの特性を見極め、クラス全体や園生活との関係も踏まえて、子どもの担当職員の割り振りをすることが望ましい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23(64%)	11(31%)	2(6%)	昨年度に比べて、配慮が適切に行なわれていると認めていただいた結果である。今後も引き続き取り組んでいきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21(58%)	14(39%)	1(3%)	清潔面ではいろいろ取り組んでいるものの、実感していないように思われる。医務室の物品の整理、加熱式蒸散除菌・駆除機等、取り組みを周知し、今後も引き続き取り組んでいきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	19(53%)	16(44%)	1(3%)	意見集約は行っているが、目標設定や振り返りの仕方などの検討は必要である。
	⑥	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	28(78%)	8(22%)	0(0%)	親の会が実施する【親の会アンケート】の内容を基に意向等を把握し、業務改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	19(53%)	16(44%)	1(3%)	ホームページにて公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7(19%)	23(64%)	6(17%)	導入の必要性は感じているが、現段階では実施できていない。導入方法などは検討していきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	32(89%)	4(11%)	0(0%)	通年で様々な研修を行うが、内容については毎年度ごとに検討を行っている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	26(72%)	10(28%)	0(0%)	個人懇談で日々の家庭生活でのニーズや課題を保護者と相談しながら盛り込み作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22(61%)	12(33%)	2(6%)	年2回発達検査を実施、保護者に報告している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24(67%)	12(33%)	0(0%)	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22(61%)	14(39%)	0(0%)	職員間での個別支援計画の把握および計画に沿った支援を共有していけるよう、取り組んでいきたい。
	⑭	活動プログラム立案をチームで行っているか	25(69%)	10(28%)	1(3%)	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	24(67%)	10(28%)	2(6%)	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	27(75%)	9(25%)	0(0%)	子どもの状況や集団活動内での様子を職員間で話し、引き続き支援計画を作成していきたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22(61%)	12(36%)	2(6%)	クラスの連絡事項に活動内容や個別対応等の役割を記載し各々確認している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17(47%)	16(44%)	3(8%)	その日のうちに行うことが難しい場合があるが、業務日誌にその日の内容や気付いた事等を記入し意見を求める等、職員間で共有できるよう工夫している。引き続き、取り組んでいきたい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25(69%)	11(31%)	0(0%)	検証等の努力をしているが、改善までには至っていない。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	21(58%)	15(42%)	0(0%)	特に記述はないが、昨年より「はい」の割合が上がっている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19(53%)	17(47%)	0(0%)	児童発達管理責任者や、担当の支援職員が参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	21(58%)	15(42%)	0(0%)	保護者の要望や必要に応じて、関係機関等と連携支援している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	21(58%)	15(42%)	0(0%)	保健センターや医療機関等と情報共有し、連携している。また、保護者の要望等に応じて、進学先の学校等に、医療面の引継ぎもしている。

関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	17(47%)	19(53%)	0(0%)	必要に応じて主治医から直接、または書面にて指示を受け、保護者にも確認した上において、医療対応を行っている。	
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19(53%)	17(47%)	0(0%)	保護者の希望の下、文書及び面談にて引継ぎを行い、連携を図っている。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24(67%)	12(33%)	0(0%)	保護者の希望の下、文書及び面談にて引継ぎを行い、連携を図っている。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	24(67%)	12(33%)	0(0%)	他事業所と連携を取っている。常勤職員を中心に、研修を受けに行っている。	
	②8	保育所やこども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28(78%)	7(19%)	1(3%)	年2回程、幼稚園と交流保育を実施している。もっと機会が増えることを希望している。	
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	28(78%)	8(22%)	0(0%)	高槻市自立支援協議会、子どもワーキングに参加している。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25(69%)	9(25%)	2(6%)	保護者とは毎日の連絡ノートや、必要に応じて電話でやりとりしている。個人懇談で園と家庭での様子を共有し、個別支援計画を共に作り上げている。保護者との共通理解を深める為に、もっと密に伝え合う時間を取りたい。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	29(81%)	7(19%)	0(0%)	ペアレント・トレーニングは実施していないが、おはなし会(保護者向け講座)等で伝えたり、個別支援計画書を通じて、家庭における支援について助言する場合がある。	
	保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	21(58%)	14(39%)	1(3%)	保護者への契約説明会などを通じて仕組みについてはお知らせし、確認の場になっている。
		③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	21(58%)	15(42%)	0(0%)	引き続き、職員間で「児童発達支援ガイドライン」を十分周知し、「児童発達支援計画」を確認する作業を行なうことが必要である。
③4		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	28(78%)	8(22%)	0(0%)	「はい」が昨年度の61.9%に比べると増え、職員の保護者支援の意識が更に高まっている。	
③5		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25(69%)	11(31%)	0(0%)	「はい」が昨年度の52.4%に比べ増えている。	
③6		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28(78%)	8(22%)	0(0%)	「はい」が昨年度の54.8%に比べ増えている。常に迅速にかつ、適切な対応ができるよう心がけている。	
③7		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	26(72%)	9(25%)	1(3%)	これからも引き続き、紙面にて保護者への情報発信を行なっていく。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	33(92%)	2(5%)	1(3%)	個人情報について、常に意識して行動する必要がある。管理方法については、引き続き検討が必要であると考えている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	32(89%)	4(11%)	0(0%)	子ども達に向けて、個々の理解に合わせて、伝え方を工夫している。保護者に対しても分かりやすく説明するようにしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	19(53%)	16(44%)	1(3%)	引き続き、園庭開放や夏まつりを実施していき、地域との交流をもっていく。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	32(89%)	4(11%)	0(0%)	職員に対しては、感染症対策をマニュアル化し、ノロ対策を行っている。保護者に対しては、ノロやインフルエンザの対応をお便りでお知らせしている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	34(94%)	2(6%)	0(0%)	定期的に色々なパターンの避難訓練をしており、緊急時に持ち出すバックを作り、災害等に備え、対応できるよう準備している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	34(94%)	2(6%)	0(0%)	入園前に情報を取り、保護者から緊急対応(薬の預かり等)を確認している。また、看護師による服薬や発作等の説明がある。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	33(92%)	3(8%)	0(0%)	入園前に保護者から情報を取り、必要に応じて除去食の申請(Dr)をしてもらっている。また、医師からの指示のもと、保護者より聞き取りをし、除去食などを決めている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	30(83%)	4(11%)	2(6%)	事例を記録して連絡会で共有しているが、改善に向けての検討はその都度やっている。事が起こったときに対応することが多い。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	31(86%)	4(11%)	1(3%)	研修を通じて勉強している。定期的に施設内虐待防止や人権に関する研修会を開催している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8(22%)	26(72%)	2(6%)	契約書で明記しているが、児童発達支援計画には記載していない現状。身体拘束は行なわない方向での療育・支援を考えている。

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行いました自己評価です。チェック項目の「どちらともいえない」数値は、評価者が担当管轄外の職種・職員である場合やチェック項目の内容に対して、わからないと回答した結果になります。